



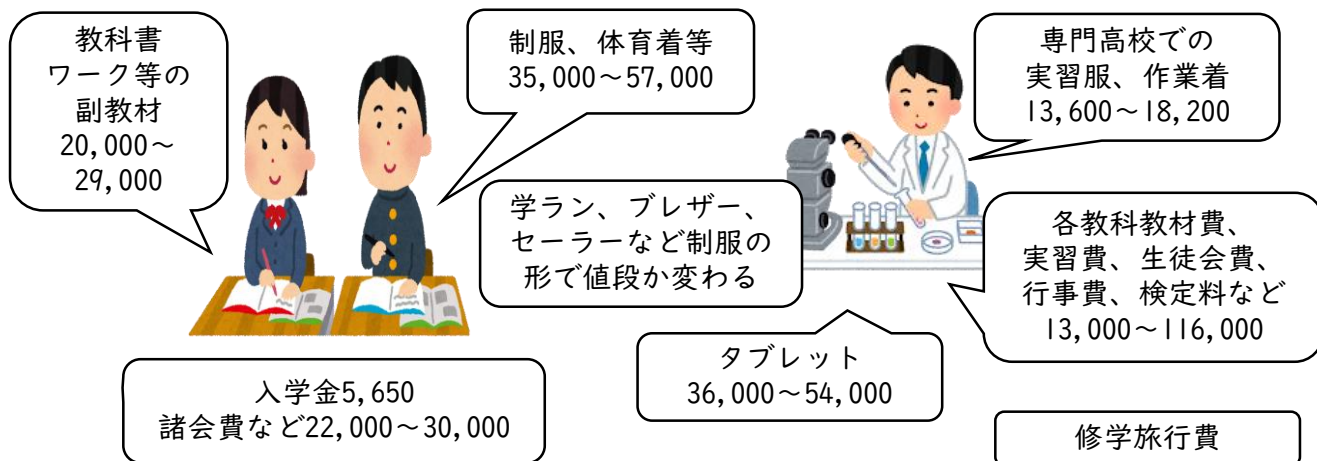
進路通信 ~ 見通しをもつ ~



第5号 2026.6.15(月) 与那原中学校 進路担当

高校無償化だから無料で高校に行ける?!

残念ながら違います。無償化の対象は授業料なので、公立高校の場合は、下記の金額が必要になります。



公立高校に1年間に支払う費用の合計(1学年次)

普通科 139,000~221,000円

専門高校 116,500~309,350円

公立でも高校によって違いはありますが、平均して18万~21万ほどかかります。また、上記以外に部活動費、昼食代、バス代、などが別途かかります。2年生からは制服やタブレット代などがからなくなるので年間11万~16万ほどになります。

専門高校の方がお金がかかる?

専門高校の中でも工業高校が実習費や資格取得試験の分、費用がかかることになります。しかし、普通高校を卒業して工業系の専門学校に進学すると入学納金で100万、実習費、教科書代などは別途かかることを考えると、公立の工業高校はかなり費用を抑えて技術を身につけることができます。

私立高校は、支援金の金額も公立より大きいですが、入学金が高額であったり、設備管理費がかかるので、単純に「公立なみになる。」と考えるのは危険です。各高校の説明会などで確認しましょう。

資格取得が評価されるのはなぜ?



英検、漢検、数検などの資格が進学や就職に有利に働くのはなぜでしょう? 「英語や数学、漢字の能力が高いから」というのも理由の1つですが、自分の意志で申込み、普段の生活に負荷を与える行動をやりとげた、という点も評価されます。また、下記の力が身につけている証明にもなります。

- 目標を設定する力
- 合格に向けてスケジュールを管理する力
- 誘惑に負けずに努力を継続する力

想像してみて、部活で実績をのこせるほどの練習をされていて、検定試験の勉強をする…「誘惑に負けずに時間を確保し、目標を持っている」という人物をイメージしませんか?